



2026年3月27日

各位

会社名 フランスベッドホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 池田 茂
(コード番号：7840 東証プライム)
問合せ先 経営企画部部長 尾島 忠典
(TEL 03-6741-5503)

2027年3月期 連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ

当社は、2026年2月6日付「通期業績予想の修正及び中期経営計画の一部取り下げに関するお知らせ」にて公表のとおり、事業環境の変化等を踏まえ、2027年3月期を最終年度とする中期経営計画に掲げていた業績目標を取り下げしております。

同開示にてお知らせしましたとおり、2027年3月期の単年度計画が確定したことから、現時点で合理的と判断される連結業績予想を取りまとめましたので、お知らせいたします。

記

1. 2027年3月期連結業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

	予想値
売上高	63,400 百万円
営業利益	4,600 百万円
経常利益	4,700 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	3,070 百万円
1株当たり当期純利益	92.00 円
1株当たり配当金	42.00 円 (中間 17.00 円、期末 25.00 円)

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 来期業績予想の考え方・前提 (事業環境認識)

当社グループを取り巻く事業環境については、物価上昇等による消費者マインドへの影響、原材料・物流コストの高止まり、為替変動リスク等、不透明な状況が継続するものと想定しております。

特に、当期の計画乖離要因となった「売上の伸びが想定に届かない一方で、原価および販管費が上昇し収益性が悪化する」状況については、短期的に解消する見込みは乏しく、来期においても一定の収益圧力が継続する前提で業績予想を策定しております。

なお、当期（2026年3月期）の業績につきましては、2026年2月6日に修正開示した業績予想（売上高61,500百万円、経常利益4,200百万円、当期純利益2,650百万円）を上回る水準での着地を見込んでおります。これは主として、病院・施設向け案件における年度末の受注動向が想定を上回ったことによるものです。一方で、来期業績予想は、当期のこうした一時的な変動要因の影響を織り込まず、引き続き慎重な前提に基づき策定しております。

3. 収益性改善に向けた基本方針

来期の業績予想は、売上規模の拡大よりも、収益構造の改善を重視して策定しております。具体的には、利益創出力の高い事業・領域へ経営資源を集中させるとともに、間接部門を含むコスト構造の見直しを継続し、固定費を抑制した事業運営体制の確立を図ってまいります。

4. 主な取り組み（収益改善に向けた取り組み）

来期に計画する増益は、主として以下の取り組みによるものです。

(1) メディカルサービス事業：レンタル拡大と費用効率改善

都市部を中心としたレンタル拡大に向けた体制強化とサービスセンター機能の強化を進めるとともに、業務プロセスの見直し・効率化を通じて費用効率の改善を図ってまいります。これらにより、レンタル売上の増加および収益性の向上を見込んでおります。

(2) インテリア健康事業：構造改革施策の寄与

当期に決定した工場再編等の構造改革施策については、来期において効果の発現を見込み、製造・物流コストの削減および事業効率の向上に取り組んでまいります。また、在庫損失の抑制や原価構造の見直しを通じて、収益性の改善を進めてまいります。

(3) 本社部門を含む間接コスト構造の見直し

本社部門費をはじめとする間接コストについて、業務プロセスの見直しや機能集約を進め、固定費削減を継続的に実施いたします。

5. 中長期の成長に向けた基盤整備

来期は収益性改善を最優先とする一方で、中長期的な成長に向けた基盤整備にも着手する方針としております。具体的には、既存事業の競争力強化を目的とした業務プロセスのデジタル化やデータ活用的高度化等を進めてまいります。

これらの取り組みについては、収益性や実現可能性を慎重に見極めながら段階的に進め、具体的な内容が固まり次第、適切なタイミングで開示いたします。

6. 中期経営計画との関係について

中期経営計画における業績数値目標については、事業環境の不確実性を踏まえ取り下げておりますが、収益性改善を軸とした経営方針や重点施策の方向性に変更はありません。

来期は、重点施策の推進と収益性改善の取り組みを進めるとともに、収益構造の改善状況を踏まえながら、中長期の成長に向けた取り組みを段階的に進めてまいります。

以上